

# 令和3年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

NO. 2

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 — かしこく やさしく たくましく —
--------------	---

## 〈徳 育〉 ○ よい行いを実行する力と思いやり

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
徳    育	1 よりよい学校づくりのための主体的な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 清掃指導では、縦割り清掃により高学年としての意識が高まった。無言清掃は大体できているが、移動が騒がしい。清掃範囲を確認して配当人数等を検討していく必要がある。</li> <li>○ 地域との連携を継続しながら今後も学校環境を整備していく。</li> <li>○ 委員会活動評価欄に学校スローガンの項目を設定することで、意識が高まった。</li> </ul>	2.82	3.43	3.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校環境の整備は地域との連携を継続しながら一層の美化活動が望まれる。</li> <li>○ 縦割り清掃、無言清掃、朝のボランティア、どの活動も子どもたちが意識をもって自主的にできるようになると素晴らしい。</li> <li>○ 地域での美化活動でも子どもたちの参加が見られますが、もう少し増えてもらいたい。</li> <li>○ 縦割り清掃により高学年の意識の高まりと低学年の高学年を真似る姿勢が変わった。</li> </ul>
	2 基本的生活習慣の重点的育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きまりを確認する時間を確保し、共通理解共通実践を行うことができた。</li> <li>○ 全体の場合での指導を適宜行ったが、徹底できないところがあった。</li> </ul>	2.52	3.38	2.60	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 返事、あいさつ、整理整頓については、全員達成できるよう指導を望む。</li> <li>○ あいさつに関しては、学校の外でも積極的にできる子どもであってほしい。南小の子どもたちの元気印として元気なあいさつができる子どもたちであってほしい。</li> <li>○ 登下校時の子どもたちのあいさつは本当に素晴らしいものがある。</li> </ul>
	3 問題行動、いじめ、不登校への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月実施することで、共通理解を図ることができた。</li> <li>○ 夏季休業中に分析を行い、望ましい学級集団の形成に向けて改善を図った。</li> <li>○ 連絡のない登校児童へは学級担任、管理職で連携し、確認を行った。</li> </ul>	3.17	3.21	3.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連絡のない欠席児童への担任、管理職の連絡体制は児童に寄り添った対応である。</li> <li>○ 多様化する生活様式で問題を見抜いていくことも大変だと思うし、対応も専門的なところも多々あると思う。先生方が親身に細かく対応され苦慮されていることと思う。地域住民としてお手伝いしていきたい。</li> </ul>
	4 道徳教育・人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権教育は計画通り実施することができた。</li> <li>○ 人権学習に関して保護者から肯定的な感想が多くあり、意識の高まりが見られた。</li> </ul>	3.00	3.24	3.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権学習に関して、保護者も意識が高まってきている。</li> <li>○ 保護者にも意識させる取組が見られ、意識の高まりが見られるようで大切だと思う。</li> </ul>

